

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	53	学校名	静岡県立川根高等学校	記載者	桑原 克之
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的生活習慣を身に付け、学校生活に積極的に取り組むとともに、自らの健康管理に留意できる生徒を育成する。	生徒アンケート③ 学校生活に関してア：「爽やかな挨拶を心掛けている」（先生、先輩、地域の方に対して、気持ちよい挨拶を意識しているか）で80%以上。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて新入生に対し、生徒会長が「川高の伝統は挨拶である」と歓迎の言葉を贈っていた時期がありました。生涯にわたって生きる資質として、今後も挨拶の意義を内面化できるよう、継続的な育成をお願いいたします。 ・多くの生徒が爽やかな挨拶を心掛けており、保護者アンケートの結果も良好です。これらの姿から、基本的なコミュニケーション能力の向上が着実に図られているものと捉えています。 ・生徒の皆さんが明るい気持ちで学校生活を送っていることが窺え、非常に爽やかな印象を受けています。
		歯科検診再受診率60%以上。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を楽しみ、栄養を十分に摂取できるよう、生徒に対して定期的な歯科受診を促していただきたいです。 ・本来は家庭で取り組むべき課題ではありますが、歯の健康は人生を大きく左右する重要な発達条件です。粘り強く働きかけを行い、高い受診率を維持できるよう促していただきたいです。
イ	多様な考えや、生き方を尊重し、他者と適切な関係を築くことができる生徒を育成する	授業改善アンケート項目 3-①「多様な生き方や考え方に触れられる授業だったか」、3-②「情報の発信と受信をよりよくかみ合わせる工夫や修正はあったか」、4-③「対話や協働のしやすい授業だったか」、が全て80%以上。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会との触れ合いの機会が多いほど、豊かな人間性が育まれます。政治・経済・文化など分野を問わず、外部との連携や体験の機会を、できる限りシラバス（学習計画）に組み込んでいただきたいです。 ・探究学習の発表会等で、生徒が自身の考えを高校生らしい発想で深め、工夫して発表している姿を拝見しました。今後は、生徒同士が意見を練り合い、互いの考えをさらに深め合うような場面が

				<p>より多く見られることを期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数教育の利点を活かし、先生方が生徒一人ひとりの個性や適性をきめ細かく把握し、実情に合わせた指導をされている点は非常に素晴らしいと感じています。
	全校集会・科目等における「人権教育」の実施。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全校、学年、学級、あるいは個人の各レベルにおいて、ICT機器等の適切な設定や活用環境の構築が進むことを期待しています。 ・「重点目標である「思いやりを持って適切に行動する」に対して、生徒の自己評価が高いことは非常に素晴らしいことであり、学校生活の充実には欠かせない要素であると捉えています。こうした態度の育成については、今後も大切に継続し、重点的に取り組んでいただきたいです。
	生徒アンケート③ 学校生活に関して イ：「自分に良いところがある」（小さなことでも自分の中で誇れることがあるか）」で80%以上。	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・表面的な自己有用感の低さのみで評価するのではなく、生徒自身が自己の課題を把握できているか、また課題に対して立ち直る力（レジリエンス）を備えているかといった、多面的なアセスメントが肝要であると考えます。こうした視点を持つことで、個々のケース分析における具体的な改善のヒントが見出せるはずです。 ・自分に自信を持ってない生徒が少なからず見受けられますが、そうした状況にあっても仲間と明るく生活できていることは何より大切なことであり、川根高校の大きな良さであると感じています。 ・1、2年生のうちから、学校生活の中で達成感ややりがいを感じられる機会を増やすことで、自己肯定感の向上に繋がることを期待しています。

様式第5号

ウ	<p>目標を自ら定め、その実現のために学習習慣の確立と主体的・対話的で深い学びの定着に取り組む生徒を育成する。</p>	<p>生徒アンケート② 家庭学習に関してア:「家庭学習に1日1時間以上取り組んでいる(各教科の宿題や予習・復習など、家でも何らかの学習に取り組んでいるか)」で80%。 学習時間調査でテスト2週間前勉強時間60分以上の生徒80%。 授業改善アンケート項目1「授業の理解度について『この授業が分かる』」が80%以上。</p>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の背景を丁寧に見極める必要があります。授業での様子を見立てることを第一としつつ、ノートの記述や面接など、多面的な評価を通じて生徒の状況を把握することが望ましいと考えます。 ・家庭学習の時間は、必ずしも十分とは言えないかもしれません。アンケート結果からも、学習より部活動や生徒会活動、行事に情熱を注ぐ生徒が多い印象を受けます。今の川高生にとって、体力や精神力は将来の「生きる力」の源泉となりますが、生活の基盤となる基礎学力も同様に不可欠です。基礎・基本を確実に身に付けられるよう、一層の支援をお願いしたいです。 ・進学や就職などの進路実現に向けて、基礎学力の習得は必須条件です。積極的な学習指導と意識付けを行い、早期から学習習慣が定着するよう取り組んでいただきたいです。
		<p>基礎力診断テストGTZ(学力到達度ゾーン)のD2以上の生徒60%以上。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の学習習慣および学習に対する意識の改善を図るべきだと考えます。
		<p>進研模試の偏差値(7月/11月)が上がった生徒30%以上。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指標において「30%以上」という目標数値を設定された具体的な経緯や、その根拠となる理由についてお伺いしたいです。 ・2年生の学力状況について、現状ではやや懸念を抱いています。 ・生徒一人ひとりが自らの可能性を広げ、一人でも多くの生徒が第一志望の大学への進学という夢を叶えられるよう、手厚い支援を期待しています。
		<p>授業改善アンケート項目2「主体的・対話的で深い学びができる授業だったか」が80%以上。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを重視した授業が多く展開されており、大変素晴らしいと感じています。 ・主体的に自分の考えを持つ経験は、将来必ず役に立つ貴重な財産となります。

様式第5号

エ	授業、生徒会活動、部活動に積極的に参加し、課題解決に向け、粘り強く取り組む生徒を育成する。	生徒アンケート① 授業に関して ウ:「それぞれの教科の自分の課題が分かっている(成績通知などの観点別評価などを見て、自分の課題がわかるか)」で80%以上。	A	A	・生徒が自身の進路との関連において、各教科で学ぶことの必要性をどこまで深く認識できているかが非常に大切であると考えます。
		生徒アンケート③ 学校生活に関して ウ:「部活動・行事・生徒会活動に積極的に参加した」で90%以上。	B	B	文化祭等では、多くの生徒が積極的に関わっていると感じている。部活動や課外活動で、精一杯、一生懸命に力を発揮している姿を見せてもらいました。 1、2年生が積極的に部活、行事に参加する施策に期待します。
オ	連携型中高一貫教育、探究学習等を充実させ、生徒の教育活動が推進される環境を整える。	中学校への説明会等を4回以上開催し、充実した広報活動を展開する。	A	A	生徒のみならず、教職員の顔の見える『日常的な交流』が大切かと思う。授業を公開しあう、行事での交流を、今後も大切にしていただければ思う。 地元の中学生在が進学してくれることが一番活性化するので、広報活動を継続して下さい。
		川根高校魅力化推進意識調査(自己評価)で「探究する力」2.70以上。 (令和6年度2.51)	B	B	探究の発表会の開催や企業や観光協会との連携など、学校の取り組みを発信する試みは、川根高校を知ってもらう機会として、とても良い方法だと思います。

		川根高校魅力化推進意識調査(自己評価)で「川根のことを自分なりに説明できる」で肯定的回答70%以上。	B	B	川根高校としての取り組みは「A」評価で良いのではないかと。生徒全員が地域活動に1回/年は参加できると、町民との交流が深化すると思います。
カ	困難を抱える生徒への支援や防災に積極的に取り組むとともに地域家庭と連携し安心安全な教育環境を整え、職員にも働きやすい学校作りを行う。	生徒アンケート② 家庭学習に関して エ:「自らを成長させるための生活・学習習慣が確立できた」、③学校生活に関して イ:「誰に対しても思いやりを持って適切に行動する」で、75%	B	B	「思いやりを持って適切に行動する」の生徒の自己評価が高いことは素晴らしいことであるし、学校生活の充実には欠くことのできない要素であると思います。こういう態度の育成についても、今後も大切にし、力を入れて欲しい点であると思います。 思いやりのある生徒が多いことは、評価できます。

		以上。			
		生徒アンケート③ 学校生活に関して カ：「地域の一員と して訓練に参加し 防災についての意 識がより高まった」で80%以上。	C	B	川高生は良く参加している。防災意識の高まりは、地区防災訓練の内容に左右されるので、削除して良いのではないかと。意識は、学校の教育計画に内在すると思う。大規模災害時は孤立化しやすい山間地ですので、普段から地域住民と訓練しておくことが望ましいです。
		施設・設備に関する職員安全衛生委員会の提言の実施率90%以上。 施設・設備に起因した事故の発生数0件。	A	A	学校設備が古くなっている所は多くあると思います。施設の補修については、積極的に要求して欲しいと思います。 教職員の方々の速やかなご対応に感謝します。
		保護者アンケート13：「学校行事への参加回数調査」の回答が1回以上。 保護者アンケート4：「学校のホームページやSNSは御覧いただいていますか」が70%。	B	B	『キャッチ-』な呼び掛け等、先ず、関心を持ってもらう発信が大切かと思う。広域な取組みなので、精選した発信が肝要。
		機械警備セット時間の短縮、前年度比マイナス10分。 年休取得日数の増加。	D	D	先生方の働き方改革と密度の濃い生徒指導、施策実施の両立は大変ですが、よろしくご検討ください。